

夜久野自治会だより

第14号

平成22年
3月号



「雪割草」

(写真提供 中島淑厚 氏)

おもな内容

会長あいさつ.....	2
定期総会、決算報告.....	2・3
夜久野の教育を考える.....	4
まちかどフォト.....	5
輝く夜久野の子どもたち.....	6・7
まごころ銀行(ふるさと基金).....	8

平成二十一年度 連合自治会活動 大変お世話になりました

夜久野町連合自治会 会長 衣川 元喜

厳しい世相が続きますが、季節は暖冬のせいもあって春が一早くやって参りました。住民の皆様方には年度替わりや田畑の作業の準備などでお忙しい毎日と存じます。

さて、浅学非才な私が昨年四月より夜久野町連合自治会長という大変重責を頂戴し、微力ながらなんとか一カ年過ごせていたけたのは、町民の皆様、各自治会長様、公民館事務局の皆様のご指導とご協力の賜物と、深く感謝申し上げ御礼申し上げます。

平成二十一年度は、国政の大きな変化に加え世界的な経済危機の招来等、激動の年でもあり、八月には集中豪雨による大きな被害にも見舞われるなど、仕事やくらしに確かな見通しがなかなか持てないままの流れの一年になりました。私たちの夜久野町も年々厳しさを増す高齢化・過疎化、そして少子化の進行は、農林業の衰退と後継者不足や学校・保育園問題等に重い課題が生れています。

こんな中であって、夜久野町連合自治会では前年度からの継続的な取り組みとして、学校問題につきましては「明日の夜久野教育を考える会」を中心に

要望書の実現に向けて全体学習会や老人会・保育園等で説明会やご意見をいただく取り組み等を進めて参りました。保育園問題につきましては、市側の説明会等が開催されましたが、まだまだ十分な意見聴取は出来ていない状況です。学校問題と共に当事者の皆さん方は勿論、町民の方々の更なる論議が求められるところです。また、合併協定に基づく各公民館の地元移行問題や市バスの利用促進による路線の維持の必要性、集落間防犯灯の地元負担に関わる協議などを進めて参りました。

恒例の「いきいきフェスタ（公民館まつり）」「ふるさと基金の運用」「河川清掃作業」等の取り組みは、計画通り皆さん方の協力のもと実施できました。

昨年八月の豪雨禍からの復旧をはじめ、多くの課題を残したままの一年が過ぎようとしておりますが、この間、夜久野町連合自治会の運営にお世話になりました町民の皆さんをはじめとする関係者の皆さんに役員を代表して心より御礼を重ねて申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成二十一年度 夜久野町連合自治会定期総会開催！

平成二十二年三月七日（日）夜久野ふれあいプラザにおいて、平成二十一年度定期総会を開催しました。議長に、平野自治会長の佐藤良郎自治会長を選出し、今年度の活動等について報告し審議が行われました。主な内容は次のとおりです。

〔平成二十一年度事業報告〕

- 各自治会長とのコミュニケーションの充実・強化
・幹事会組織の充実強化を図ることはできなかったが、当面の問題点・課題等について協議を進めてきた。
- ・旧三町地域の問題点を共有化し意見交換会を実施。
- ・防犯灯の対応など、町全体として取り組む要望事項の取りまとめや、要望活動を実施。
- 明日の夜久野教育を考える会の取組
住民の皆さん、参加団体の皆さん、関係機関の皆さん方の協力をいただきながら学習会や意見交流・協議等を進めた。
- 公民館活動への積極参加と自立化への支援
いきいきフェスタについては、十月二十五日（日）に多くの関係団体の皆さんや多数の住民の皆さん方の参加の下に開催。
- ふるさと基金（まごころ銀行）の有効活用
地域の文化や福祉の充実を図るための取り組みを実施。
- 夜久野地域河川掃除の委託事業の実現
「連合自治会」が窓口となり、京都府との間で委託契約を締結し、河川清掃事業を実施。
- 上夜久野地区における税金等出張徴収を行うよう福知山市へ継続を要望し、確約を得る。
- 夜久野地域における子どもの安全確保
夏期間の学校プール管理人への財政支援。
- 「夜久野自治会だより」の発行
多くの皆さん方のご協力により、年三回の「夜久野自治会だより」を発行。
- 「家庭ごみ収集カレンダー」の継続発行
昨年度に引き続き「見やすい、わかりやすいカレンダー」づくりに努め、平成二十二年版を発行。
- 夜久野高原における大規模養鶏場建設の問題。
「連合自治会」が行政との窓口となり、行政や関係自治会との意見交流を進めながら今後の対応策等について継続協議。
- 〔平成二十一年度会計中間報告および監査報告〕（次ページに掲載）
以上の活動報告と会計決算について、全会一致で承認されました。その後、平成二十一年度夜久野ふるさと基金事業報告ならびに会計決算報告がされ、閉会しました。

JAは夜久野自治会を応援しています。住みよい町づくりは住民の結集から。

豊かな暮らしの応援団

JA京都にのくに

夜久野支店

電話 (0773) 37-1121

平成21年度・夜久野町連合自治会 会計(中間)報告書

平成22年3月3日現在

《一般会計》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
繰 越 金	148,112	148,112	0	前年度繰越金	54,257
会 議 費	840,000	838,200	△1,800	600円×1,397戸	849,000
協 賛 金	120,000	180,000	60,000	協賛金22企業	225,000
雑 収 入	200	40,176	39,976	預金利息 寄付金4万円	387
合 計	1,108,312	1,206,488	98,176		1,128,644

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
会 議 費	25,000	13,776	△11,224	総会お茶代、中公民館使用料	27,610
事務消耗品費	40,000	60,444	20,444	用紙、封筒、マスターインク、ゴム印等事務用品	11,137
通信交通費	25,000	26,260	1,260	はがき、切手等郵送料	22,360
事 業 費	960,000	733,700	△226,300	自治会だより3回発行 @80,850円 ごみカレンダー2,000部42,000円 プール補助(3小学校)12万円 夜久野教考へ5万円 自治会事務局費36万円	919,425
予 備 費	58,312	0	△58,312		0
合 計	1,108,312	834,180	△274,132		980,532

(収入) 1,106,488円－(支出) 834,180円＝372,308円(差引残高)

《特別会計》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
繰 越 金	39,995	39,995	0	前年度繰越金	95,306
河川掃除受託	6,358,800	6,358,800	0	京都府より	6,358,800
雑 収 入	200	74	△126	預金利息	364
合 計	6,398,995	6,398,869	△126		6,454,470

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
租 税 公 課	10,000	10,000	0	委託契約の収入印紙代	10,000
自治会配分金	6,297,000	6,298,220	1,220	44自治会配分	6,296,250
予 備 費	91,995	0	△91,995		88,800
合 計	6,398,995	6,308,220	△90,775		6,414,475

(収入) 6,398,896円－(支出) 6,308,220円＝90,649円(差引残高)

《明日の夜久野教育を考える会》

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算額
繰 越 金	7,835	7,835	0	前年度繰越金	
繰 入 金	50,000	50,000	0	一般会計より	60,000
雑 収 入	10	8	△2	預金利息	5
合 計	57,845	57,843	△2		60,005

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	昨年度決算
会 議 費	5,000	0	△5,000		1,170
通 信 費	30,000	10,000	△20,000	切手・ハガキ代	26,000
予 備 費	22,845	41,750	18,905	中間報告書2,500部作成	25,000
合 計	57,845	51,750	△6,095		52,170

(収入) 57,843円－(支出) 51,750円＝6,093円(差引残高)

上記のとおり会計(中間)報告いたします。

平成22年3月7日

夜久野町連合自治会 会計 岡本 直明

ご葬儀のお知らせ

葬儀一式24時間寝台車にて病院への迎え承ります。
自宅葬、斎場葬他市役所の手続、火葬場の手続、一切。
霊柩車、送迎バス、ドライアイス他全てお世話させていただきます。

一度ご相談
下さい。

真成葬祭

福知山市夜久野町額田91-5
TEL 37-0337・0166

夜久野の子どもに明るい未来を

～熱気あふれる学校問題学習会開かれる～

年の押しつまった昨年12月22日午後7時から、ふれあいプラザ研修室で各校PTAの役員、保育園保護者会役員の皆さんや連合自治会役員等、それにオブザーバの各校の校長・保育園長等100名を上回る会場溢れんばかりの方々に参加いただき、衣川豊事務局次長の司会で開催され、地域選出の稲垣市議会議員（中島議員は所用のため欠席）、市教育委員会塩見理事にそれぞれ来賓として挨拶をいただきました。

学習会の主題は「夜久野の教育現状・課題として今後について」として進められました。

まず瀬田眞澄事務局長が既報の本会報告書（全戸とPTA・保護者会会員へ配布済み）に基づき改めて「会」の結成から要望書作成、提出の取り組みが喫緊の課題であったことを中心に経過報告を行いました。

第一講話は、「夜久野の教育と今後の発展に向けて」と題して本会の顧問でもあり、元夜久野町教育委員会指導主事の石田卓先生が旧夜久野町時代の素晴らしい先進的な教育の取り組みについて実例を挙げながら説明され、この成果は現在も各学校に継承されており、新しく構想されている夜久野の学校づくりが、福知山の教育モデルとして引き継がれていくことに期待したいと、強調されました。

第二講話は、「直面する喫緊の課題」と題して育英小学校小西一徳PTA会長より育英小学校の置かれている現状と課題について報告がありました。育英小では複式学級が（2年生3年生）の1学級あり、数年のうちには複式学級が2～3学級出現することとなり、これらの現状を踏まえPTA会員にアンケートをしたところ、「早急に複式学級を解消してほしい」との声が高かったこと。近々には体育館入り口の天井が崩落した。幸い休校中で子ども達には被害が出なかったが、これが授業中であつたらと思うと慄然とした。校舎の老朽化も著しく進行している現状から、「本会」が要望している4項目※について早急に実現して欲しいという切実な訴えがなされました。

第三講話は、「本会」がめざしている「小中一貫教育と特色ある学校について」と題して元夜久野中学校校長の足立郁郎先生からパワーポイント（映像）を使って、小中一貫校とはどんな学校かについて、NHKの特集番組や京都市内・宇治市等で取り組まれている小中一貫校の紹介や説明を聞きました。全国では多くの地域で小中一貫校が実施・検討されている実態から、これからの学校教育は地域・家庭・学校の実態や子どもの発達の現状をふまえ、新しい視野に立って創っていかねばならない、明日の夜久野教育を考える会の取り組みに大きく期待すると強調されました。

意見交換では真剣な発言と応答がありました。

岡本直明連合自治会副会長から保育園の統合問題に関して市からの説明内容について報告され、今後連合自治会としても保育園統合問題について関心をもって連合自治会内で協議するが、皆さんも是非真剣に考えていただきたいと要望されました。

※ 要望4項目 1.三小学校を一校に 2.新校舎を夜久野中学校に近接して建設を 3.統合小学校は小中一貫校に 4.跡地は地域のセンターに

註 文章は省略してあります。



LPガス・住宅設備機器・上下水道工事・空調設備

株式会社 くさか

福知山店 福知山市字前田1878-296 TEL 0773(27)1319番(代)
夜久野店 福知山市夜久野町額田1377 TEL 0773(37)0008番(代)

醤油・味噌・酢・製造

有限会社 日下本店

福知山市夜久野町額田1377
TEL 0773(37)0008番(代)

墓石・墓苑
のご用命は

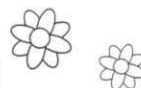
高内石工組合

〒629-1313

京都府福知山市夜久野町高内142
TEL (0773)37-0116



まちかどフォト



初めての人も大満足！

デジタルカメラ 写真講座

夜久野地域公民館講座の「デジタルカメラ写真講座」が全4回で開催されました。講師の吉田利栄さんには、初心者にもわかりやすく、ていねいに指導していただきました。



私たちの町の宝

玄武岩公園の水をきれいに！



京都府の天然記念物に指定されている玄武岩公園の池を、3月6日、中夜久野自治会有志の皆さんが大掃除。池の水を1週間がかりで排水したあと、落ち葉や枯れ枝を取り除き、岩の泥を高圧水で吹き飛ばしました。きれいになった公園を皆さん、ぜひご覧ください。

善意の雑誌23種類 夜久野の図書館に ～合併後4年間続くボランティア活動～

市立図書館夜久野分館は、旧町時の平成17年3月に先進図書館のノウハウや町民の皆さん等のご意見も取り入れた図書館として、小さいけれど特色ある機能と温かいサービスで利用者に親しまれていました。その特色の一つが48種類の充実した雑誌コーナーでした。しかし、合併後は8種類に軽減されその特色は消え去ってしまいました。

雑誌の姿が消えた広いコーナーを見た利用者の有志の皆さんが、少しでも雑誌を復元しようと平成18年の8月から現在まで、23種類の新聞雑誌の寄贈が続けられています。

これは、市内図書館では最多の雑誌数で多くの利用者の皆さんに大変喜ばれています。

仮称「夜久野分館友の会」の事務局では、スポンサーの交代も含め多くの皆さんのご協力を願ってられます。

連絡・問い合わせは 夜久野地域公民館事務局まで
TEL 37-1188

寄贈新聞雑誌(22種類) 平成18年8月～平成22年3月

一枚の絵 ニュートン 家庭画報 音楽の友 関西のつり
趣味の園芸 プレジデント 旅の手帳 現代農業 文藝春秋
児童心理 ナンバー ダ・ヴィンチ NHK俳壇
NHK短歌 歴史街道 山と溪谷 婦人の友 子どもの科学
プチレモン 天然生活

寄贈既読雑誌・新聞 家の光 日本経済新聞 ロードショー

寄贈者芳名(順不同・敬称略)

森下三代子 大江伸哉 中路正明 小林和子 櫻井雅康

足立晶 西垣哲也 大本文雄 衣川資子 衣川幹彦 足立郁郎 後藤純子 杉森常和 有本正嗣

大本夏代 岡本直美 柴原秀行 橋本俊介 大隅万里子 塚本鈴子 足立優



地域社会の環境
と自然を守る！



株式会社クリア

京都府福知山市夜久野町額田373番地
TEL (0773) 37-0304

輝く夜久野の子どもたち

上夜久野保育園

「おはよう」の元気な声で登園する子ども達、さあ一日の始まりです。二十二人でスタートした四月、今は二十八人と友だちも増え、とても賑やかになりました。保育園の朝は、食材調べその後、マラソンが始まります。半そでTシャツ、半ズボンで走る、年長児もいて、元気いっぱい、今はキッズソーランも踊っています。



広やかな園庭には、みんなで植えた苺がマルチの中で春をまつています。去年の春は、野菜の苗をみんなで買いにいき、お日様の光と保護者、祖父母の皆様の御指導で、すくすくと育ち、月に一度のクッキングは収穫した野菜を沢山使うことができました。皆様の好意で、子ども達は、茶摘み、茶揉み、枝豆とりを経験し、また頂いた「米粉・自然薯・鰯・手作り味噌・もち米・旬の果物・野菜・いたどり」等の素材のおいしさを数多く、知ることが出来ました。二十一年十月、全園児で、花火を描いた絵から、自分形作りを楽しみ、造形フェスタに出展をし、当日には、特別賞をいただきました。お家の皆様、見に来てくださり、ありがとうございました。さいます。地域の方々には、夕涼み会を見ていただき、二月には子ども達といっしょに、カルタ、こままわし、折り紙、バズルをしていただきました。老人会の方より、「また来てさせてもらいます。」と話され、楽しんでいただけた様子に、子ども達もうれしそうにいました。これから、子ども達も保育園が、色々な方々との交流の場所となりますように、その中から、触れ合うことの喜び、思いやる心が育つことを願っています。

皆様に見守られているから、ひとつ、ひとつの行事を自分のペースでとりくみ、やり遂げることが出来る、上夜久野保育園の子ども達、今年長児は、竹馬に取り組んでいます。「なあ、するで、見とつてよ」「な、できたやろ」と言っている、その誇らしい顔を、いつまでも大切にしていきたいと思っています。

中夜久野保育園

中夜久野保育園は、地域の方たちとの触れ合いを沢山持ち、地域の中で自分たちは生かされ、大きく育っているということを子ども達に感じてほしいと、太鼓・折り紙・七夕お楽しみ会・鷹見学・敬老会・化石見学・音楽鑑賞会・オカリナ演奏会などを通して地域の方たちと触れ合ってきました。

子ども達の手作りの案内状を手にお家におじやました時には、「ありがとう。待ってたんや。」と笑顔でとても喜んでもらい、楽しい時間を一緒に過ごす事ができました。散歩の途中で、声をかけてもらい、元気に挨拶を返す子ども達。また畑をお借りして、作り方を教えてもらいながらの菜園活動やたけのこ掘り、よもぎ摘み、柿ぼり、芋ほり、七草つみなどの貴重な体験もすることができました。昨年十月には、地域の方からいただいた、毛糸の芯をもとに子ども達は、中学生と一緒に「みのなる木」を造り、造形フェスタに初めて出展することができました。注目を集めた作品は、今、遊戯室を華やかにしてくれています。



今までの積み重ねを大切にこれからも沢山の触れ合いを持つ中で、地域・家庭・保育園が一つになつての子育てができればと思います。夜久野に生まれて良かった、育って良かった、故郷は夜久野だと子ども達が大きくなった時に胸をはって言えるように・・・と願います。

下夜久野保育園

下夜久野保育園には、年間を通して「話をよく聞き、自分で考えて、行動出来る子に」という園目標があります。

その目標を達成するためには、園内での保育以外に色々な経験や体験が大切だと考え地域との交流を大切にしています。平成元年から続いています老人会（寿会）様と



の交流では、じゃがいも・玉ねぎ・さつま芋の植え付けや収穫があります。毎年温かく迎えてくださる皆様の笑顔は変わることなく現在まで続いています。夏の平和学習では、戦争体験者の方に当時の様子を話していただきました。秋まつりは、散歩に出かけ丹精込めて作られたダシを見て回りました。冬は地域の方からいただいた大根を使って切干大根作りに挑戦。程よく乾燥した大根は給食の一品となりました。どの行事も全園児が参加しています。これはただほんの一例です。今後も様々な方々との交流を大切にしながら、地域に開かれた園、誰もが訪ねてくださる園を目指して頑張ります。地域の皆様これからも宜しくお願い致します。

精華小学校

「やる気・根気・元気ハツラツ
精華の子」を目指して

精華小学校の全校六十七名は、「やる気・根気・元気」を合い言葉にいろいろな活動に取り組み、大きく成長しました。表現力もついてきました。その中で、三つの行事を紹介します。

☆「精華ふれあい隊」

五月二十二日、「多くのの人たちとふれあいたい」という願いを持って、全校が「お茶体験」「竹細工体験」「化石採集」「木工体験」の四コースの中から希望のコースを選び、楽しく活動しました。地域の方々と温かくふれあうことができました。

☆「上夜久野地区大運動会」

九月二十日、新型インフルエンザが猛威をふるい始めた時期でしたが、盛大に開催でき嬉しかったです。子ども達の演技に多くの方々温かい声援を送ってください、大きな達成感を味わうことができました。



☆「精華フェスティバル」

十月二十二日、「精華ふれあい隊」で育んだ「ふれあい」をキーワードに、保護者や地域の方々の協力を得て、「お茶体験」「自然素材造形体験」「そば打ち」「英語劇」「国語・外国語活動授業」「全校音読」を公開しました。当日は、福知山市教育委員会指定研究発表会も兼ね、市内の先生方にも観ていただきました。来校者には、「出迎え隊」が、心を込めてお迎えしました。

どの行事も、保護者や地域の皆様のご理解とご協力あってこそ成功したもののばかりです。

三学期の児童会目標は、「一日一日を大切に過ごそう」です。春には、それぞれが新しいステージを迎えます。自分の夢を叶えるため、今を大切にしたいと願っています。

一年間、子どもたちを陰に日向に励まし応援していただきました。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

育英小学校

育英小学校の子どもたち

本年度、育英小学校では国語科を重点研究とし、「自分の言葉で考え、表現することのできる児童の育成」を研究テーマに実践を進めてきました。特に「書くこと」を大切に授業づくりを努めるとともに、日常的にも多くの語句や言葉に触れる機会を設けています。ここでは、子どもたちの日常的な学習の様子を紹介いたします。

朝八時三十分、朝学習で「声だし計算」と「文章王」に取り組みます。「文章王」は学級ごとに課題として出された言葉を使った短文作りを行います。集中した朝のスタートです。八時四十分、放送朝の会。内容は「今日の予定」「ことわざ・俳句・短歌の紹介」「今月の歌」の約七分間です。



子どもたちは耳を澄ませ、放送の内容をプリントに書き込みます。集中して聞く力と書く力の向上を目指しています。低学年にはことわざ等難しいのですが、よく記憶していますが、よく記憶しているもので感心させられます。

月ごとに「わくわくコース(低学年用)」「きらきらコース(中学年用)」「いきいきコース(高学年用)」の問題が出される「チャレンジ国語」にも頑張っており、取り組んでいます。たとえば、ある言葉から連想する言葉やたくさん集めたり、絵を見て文章を書いたり、季節感あふれる俳句を作ったりする課題が出されます。月に一度の全校朝の会で、みんなが一生懸命考えた言葉や文章を担当の先生から紹介してもらいます。紹介された子どもたちは嬉しくもあり、照れくさくもありといったところでしょうか。あるときは、おじいさんやおばあさんから俳句が届き、素敵な関わりに心が温かくなることもあります。

明正小学校

「やる気・やさしさ・元気」
いっぱいの子どもたちに!

「私は、駅伝大会に出場して『友達の手を借りる』ことを学びました。友達からタスキをもらって走り、そして友達にタスキを渡して、友達を応援しました。自分では走れない距離を友達と一緒に走りました。」
六年生は、駅伝大会に向けて、朝の時間や体育で1km走をがんばっていました。そ



して、昨年十一月に行われた福知山市小学生駅伝大会では、五人が一本のタスキをつないで最後まで粘り強く走り抜きました。男女ともに五十チーム以上が参加する中、男子五位、女子八位に入賞しました。子どもたちにとっては、入賞の喜びとともに、友達とのつながりを深めることができた駅伝大会となりました。そして、六年生の活躍は、全校児童にとっても誇りであり、今後の目標となっています。学習でも運動でも、「子どもの可能性を最大限に発揮させる」ことを目指しています。

また、地域社会との連携・協力による教育活動を進めています。子どもたちは、学校生活についてのアンケートで、「夜久野町の学習をするのは楽しい」(九十五%)と答えています。保育園児や高齢者との交流、農作物の栽培、町内の各施設の見学、額田祭りの歴史やダシ作り、漆工芸の体験、川や森林の環境保護、いろいろな職業に携わる人の話など、各学年のテーマを決めて「ふるさと夜久野学」そして取り組んでいます。これらの学習では、ふるさとへのすばらしさを体験を通して学ぶとともに、人々とのふれあいを深めることができます。グリーンピア夜久野を訪問した児童は、「『かたもみしようか』と言ったら、『ありがとう』と言われて、とてもうれしかったし、『あなた、やさしいね』と言ってもらいました。」と、書いています。

ふるさと夜久野で育ち、学んでいる子どもたちは、いつか夜久野を離れることもありますが、自分のふるさとを心の母港として、たくましく成長してくれることを願っています。

今後におきましても、地域の皆様のご支援をいただきますようよろしくお願いします。

松田電器

TEL 37-0043 FAX 37-0043

石州瓦販売・施工

塚脇 英雄

天田瓦店

TEL 37-1025
FAX 37-1025



なんでもそろてる スポンジや
山本産業株式会社

629-1322 京都府福知山市夜久野町平野2127
TEL(0773)38-1101(代) FAX(0773)38-1104(代)

住いのリフォーム、新築、増改築、設備のことは

(株)衣川製材所

福知山市夜久野町額田1406 TEL 0773-37-0036

平成21年度 事業報告

基金の有効活用については、篤志をいただいた皆様方のご芳情を生かすように十分検討してまいりたいと思います。

夜久野ふるさと基金

運営委員長 衣川元喜

- 「り」支援金

⑧